

## 地域密着型金融の取組事例について

## タイトル 小口資金（東日本大震災対応資金）の創設 JA名 JAそうま（福島県）

1 動機 （経緯）	東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所の事故により被災された農業者等に対して、緊急かつ一時的に必要とされる生活に関わる資金の便宜・融通をはかり救済することを目的として資金を創設しました。
2 概要	1 資金名称 小口資金（東日本大震災対応資金） 2 資金使途 生活にかかる資金および当組合が認めた資金 （例）・住居、農作業場等の修繕費用（地震および津波） ・軽トラックを含む自動車の購入（津波による流失） ・避難および生活にかかる費用（津波および原発事故） 3 貸付限度 100万円 4 貸付利率 組合所定の利率 5 貸付期間 5年以内（うち据置期間1年以内） 6 担保・保証 原則、無担保・無保証人とする。
3 成果 （効果）	平成23年4月8日～平成24年2月29日 【取扱実績】 取扱件数70件 取扱金額56百万円
4 今後の 予定（課題）	当JA管内では津波による農地の浸水に加え、原発事故による農産物の作付・出荷制限および風評被害を受け、農家収入が大きく減少している状況です。また農地の復旧については圃場整備や津波被害に対する除塩作業、および放射能汚染に対する除染作業等、管内市町村による復興計画に沿って進められておりますが、現時点では策定に着手した段階です。今後は、復興・復旧の進展に伴う農業関連の復興資金の需要が本格化していくものと想定しており、営農再開・生活再建二ーズに対応した円滑な金融支援を実施していく方針です。本資金については平成24年度も継続して取扱い、農業者等の生活を支援してまいります。

## （津波被害の様子）

